

大阪市立大学副学長略歴

- 1 氏 名 桐山 孝信 (きりやま たかのぶ)
- 2 生年月日 昭和 33 年 2 月 1 日生
- 3 専 攻 国際組織法
- 4 任 期 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
- 5 学 位 博士 (法学) (大阪市立大学)
- 6 最終学歴 昭和 61 年 3 月 京都大学大学院法学研究科博士課程 単位修得退学
- 7 職 歴 昭和 61 年 4 月 京都大学法学部 助手
平成元年 4 月 神戸市外国語大学外国語学部 助教授
平成 5 年 4 月 大阪市立大学法学部 助教授
平成 11 年 4 月 大阪市立大学法学部 教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院法学研究科 教授
現在に至る

平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月 大阪市立大学 学生部長
平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月 大阪市立大学大学院法学研究科長・法学部長
平成 22 年 4 月～現職
- 8 選出年月日 平成 26 年 2 月 24 日
- 9 主な業績等
著書
『国際機構(第 4 版)』(共編著、世界思想社、2009 年)
『国際紛争と国際法』(共著、嵯峨野書院、2008 年)
『民主主義の国際法』(有斐閣、2001 年)
論文
「国際法秩序における民主主義の機能」国際法外交雑誌 107 巻 4 号 : pp1-18.
「人間の安全保障と世界銀行」大久保史郎編『グローバリゼーションと人間の安全保障』
2007. 7. : pp. 176-196.
「領土帰属論からガバナンス論への転回と植民地主義—委任統治制度再考の今日的意義—」浅田正彦編『二一世紀国際法の課題：安藤仁介先生古希記念』2006 : pp. 3-23.
「世界銀行の活動と国際人権」法律時報. 77 巻 1 号 (通号 952) [2005. 1]
- 10 その他 前任の任期満了に伴う選出 (再任)

大阪市立大学副学長略歴

- 1 氏 名 宮野 道雄 (みやの みちお)
- 2 生年月日 昭和25年 3月25日生
- 3 専 攻 居住安全人間工学
- 4 任 期 平成26年4月1日～平成28年3月31日
- 5 学 位 工学博士 (東京都立大学)
- 6 最終学歴 昭和55年3月
東京都立大学大学院工学研究科博士課程 単位取得満期退学
- 7 職 歴
昭和58年4月 東京工科専門学校建築科 専任講師
昭和60年9月 同 退職
昭和60年10月 大阪市立大学生活科学部 講師
平成元年4月 同 助教授
平成9年4月 同 教授
平成13年4月 大阪市立大学大学院生活科学研究科 教授
現在に至る

平成18年4月～平成20年3月 生活科学研究科研究科長
平成22年4月～ 現職
- 8 選出年月日 平成26年2月24日
- 9 主な業績等
主な著書
“Human Casualties in Natural Disasters” (Springer 2011)
『長周期地震動と建築物の耐震性』(日本建築学会、2007年)
『住まいの事典』(朝倉書店 2004年)
『防災事典』(築地書館 2002年)
『阪神大震災-はや5年まだ5年-』(学芸出版社 2000年)
- 10 その他 前任の任期満了に伴う選出 (再任)

大阪市立大学副学長略歴

- 1 氏 名 大嶋 寛 (おおしま ひろし)
- 2 生年月日 昭和 25 年 12 月 27 日生
- 3 専 攻 化学生物系専攻
- 4 任 期 平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- 5 学 位 工学博士 (大阪市立大学)
- 6 最終学歴 昭和 52 年 9 月 大阪市立大学大学院応用化学専攻後期博士課程 退学
- 7 職 歴 昭和 52 年 10 月～平成 2 年 3 月 大阪市立大学工学部応用化学科 助手
平成 2 年 4 月～平成 4 年 3 月 大阪市立大学工学部生物応用化学科 助手
平成 4 年 4 月～平成 11 年 3 月 大阪市立大学工学部生物応用化学科 助教授
平成 11 年 4 月～平成 13 年 3 月 大阪市立大学工学部生物応用化学科 教授
平成 13 年 4 月～平成 14 年 3 月 大阪市立大学大学院工学研究科生物応用化学専攻 教授
平成 14 年 4 月～現在に至る 大阪市立大学大学院工学研究科化学生物系専攻 教授
平成 15 年 4 月～平成 17 年 3 月 大阪市立大学評議員
平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月 大阪市立大学教育研究評議員
平成 21 年 4 月～平成 24 年 3 月 大阪市立大学工学研究科長
平成 24 年 4 月～ 大阪市立大学特命副学長
平成 25 年 4 月～ 大阪市立大学大学改革室長兼務
- 8 選出年月日 平成 26 年 2 月 24 日
- 9 主な業績等
《著書》
 1. 役にたつ化学シリーズ 8 化学工学, 朝倉書店, 65-79, 96-104 (2005)
 2. ファインケミカルシリーズ 医薬品原薬・中間体製造におけるスケール アップとトラブル対策, シーエムシー出版, 103-113 (2008)
《学術論文》
 1. Structure of supersaturated solution and crystal nucleation induced by diffusion, *J. Crystal Growth*, **373**, pp. 2-6 (2013)
 2. Repeated Cooling Crystallization for Production of Microcrystals with a Narrow Size Distribution, *J. Chem. Eng. Japan*, **45** (10), pp.811-815 (2012)
 3. Control of Crystal Size Distribution Using a mL-Scale Continuous Crystallizer Equipped with a High Speed Agitator, *J. Chem. Eng. Japan*, **45** (1), pp. 28-33 (2012)
 4. Relationship between Crystal Polymorphism and Solution Structure of an Imidazopyridine Derivative as a Drug Substance for Osteoporosis, *J. Chem. Eng. Japan*, **42**, pp. 204-211 (2009)
 5. Production of High Concentration Glucose-1-Phosphate by Immobilized Phosphorylase, *J. Chem. Eng. Japan*, **42**, pp. 191-197 (2009)
 6. Effects of Impurities on Crystal Polymorphism of an Imidazopyridine Derivative Developed as a Drug Substance for Osteoporosis, *J. Chem. Eng. Japan*, **42**, pp. 147-152 (2009)
学術論文 90編, 解説・総説 14編, 著書 12冊, その他 27編
- 10 その他 副学長職の増に伴う選出 (新任)

大阪市立大学副学長兼教務担当部長略歴

- 1 氏 名 井上 徹 (いのうえ とおる)
- 2 生年月日 昭和 29 年 2 月 7 日
- 3 専 攻 東洋史学
- 4 任 期 平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- 5 学 位 博士 (歴史学) (名古屋大学)
- 6 最終学歴 名古屋大学大学院文学研究科 後期博士課程 単位取得退学
- 7 職 歴 昭和 63 年 10 月 弘前大学人文学部講師
平成 2 年 1 月 弘前大学人文学部助教授
平成 10 年 7 月 弘前大学人文学部教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学大学院文学研究科・文学部教授
平成 23 年 4 月～25 年 3 月 大阪市立大学文学研究科長
平成 25 年 4 月～ 大阪市立大学学長特別補佐
- 8 選出年月日 平成 26 年 2 月 24 日
- 9 主な業績等
著書(単著)『中国の宗族と国家の礼制－宗法主義の視点からの分析－』(2000. 2、研文出版)
著書(共編著)『宋一明宗族の研究』(2002. 3、汲古書院)
著書(共著)『中日学者論中国古代城市』(2007. 5、三秦出版社)
著書(編著)『海域交流と政治権力の対応』2011. 2、汲古書院)
論文(単著)「中国の近世譜」(『歴史学研究』743、2000. 11)
論文(単著)「中国近世の都市と礼の威力」(『年報都市史研究』15、2007. 12、山川出版社)
論文(単著)「都市文化の伝統とグローバリズム」(『都市文化理論の構築に向けて』、2007. 3、清
文堂出版)
論文(単著)「「華」はどのように「夷」を包摂したか?」(『歴史評論』733、2011. 5)
- 10 その他 副学長職の増に伴う選出(新任)

大阪市立大学特命副学長略歴

- 1 氏 名 櫻木 弘之 (さくらぎ ひろゆき)
- 2 生年月日 昭和 32 年 11 月 19 日
- 3 専門分野 原子核物理学
- 4 任 期 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
- 5 学 位 理学博士 (九州大学)
- 6 最終学歴 九州大学大学院理学研究科 博士課程修了
- 7 職 歴 昭和 60 年 4 月 東京大学原子核研究所研究員
昭和 62 年 4 月 大阪市立大学理学部助手
平成 2 年 4 月 大阪市立大学理学部講師
平成 6 年 4 月 大阪市立大学理学部助教授
平成 11 年 4 月 大阪市立大学理学部教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学大学院理学研究科教授
平成 22 年 4 月～25 年 3 月 大阪市立大学理学研究科長
平成 25 年 4 月 大阪市立大学特命副学長
- 8 選出年月日 平成 26 年 2 月 24 日
- 9 主な業績等
著書 (分担執筆) 『Nucleon Hadron Many Body Systems』, Oxford University Press, 1999
論文 (共著) 『Global optical potential for nucleus-nucleus systems from 50 MeV/u to 400 MeV/u 』, Physical Review C **85**, 044607, 2012.
論文 (共著) 『Repulsive nature of optical potentials for high-energy heavy-ion scattering』, Physical Review C **82**, 044612, 2010.
論文 (共著) 『New complex G -matrix interactions derived from two- and three-body forces and application to proton-nucleus elastic scattering』, Physical Review C **78**, 044610, 2008.
論文 (共著) 『 $3\alpha+3\alpha$ and $3\alpha+^{12}\text{C}$ configurations in ^{24}Mg 』, Physical Review Letters **74**, 4141, 1995.
論文 (共著) 『Evidence for Strong Nuclear-Breakup Contribution to $^6\text{Li}\rightarrow \alpha+d$ Breakup by ^{208}Pb at Forward Angles』, Physical Review Letters **69**, 1892, 1992.
論文 (単著) 『Energy and target dependence of projectile breakup effect in elastic scattering of ^6Li 』, Physical Review C **35**, 2161, 1987.
論文 (共著) 『Microscopic coupled-channels study of scattering and breakup of light heavy-ions』, Progress of Theoretical Physics Supplement **89**, 136, 1986.
- 10 その他 前任の任期満了に伴う選出 (再任)

大阪市立大学学生担当部長略歴

- 1 氏 名 富澤 修身 (とみざわ おさみ)
- 2 生 年 月 日 昭和29年1月27日
- 3 専 攻 工業論
- 4 任 期 平成26年4月1日～平成28年3月31日
- 5 学 位 経済学博士 (東北大学)
- 6 最 終 学 歴 東北大学大学院経済学研究科博士後期課程修了
- 7 職 歴 昭和59年 4月 東北大学経済学部助手
昭和60年 4月 大阪市立大学商学部講師
昭和63年10月 同 助教授
平成 5年 4月 同 教授
平成13年 4月 大阪市立大学大学院経営学研究科教授
現在に至る
平成16年 4月 同経営学研究科長・商学部長 (～平成18年3月)
平成24年 4月 大阪市立大学学生担当部長 (～平成26年3月)
- 8 選出年月日 平成26年2月24日
- 9 主な業績等 単著『アメリカ南部の工業化』(創風社, 平成3年)
単著『構造調整の産業分析』(創風社, 平成10年)
単著『ファッション産業論』(創風社, 平成15年)
単著『模倣と創造のファッション産業史』
(ミネルヴァ書房, 平成25年)
- 10 そ の 他 前任の任期満了に伴う選出 (再任)

大阪市立大学入試担当部長略歴

- 1 氏 名 三田村 宗樹 (みたむら むねき)
- 2 生年月日 昭和 33 年 4 月 7 日
- 3 専門分野 第四紀地質学・都市地質学
- 4 任 期 平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- 5 学 位 博士 (理学) (大阪市立大学)
- 6 最終学歴 昭和58年 3月 大阪市立大学大学院理学研究科地質学専攻 修了
- 7 職 歴 昭和 58 年 4 月 川崎地質株式会社技術職
昭和60年 10月 大阪市立大学理学部 助手
平成5年 10月 同 上 講師
平成9年 10月 同 上 助教授
平成10年 4月 大阪市立大学大学院理学研究科 助教授
平成19年 4月 同 上 准教授
平成22年 4月 同 上 教授
現在に至る
- 8 選出年月日 平成 26 年 2 月 24 日
- 9 主な業績等
共著 『「人類紀自然学」』 (共立出版, 平成 19 年)
共著 『日本地方地質誌 近畿地方』 (朝倉書店, 平成 21 年)
共著 『都市の水資源と地下水の未来』 (京都大学学術出版会, 平成 23 年)
共著 『いのちを守る都市づくり[課題編]』 (大阪公立大学出版協会, 平成 24 年)
共著 『いのちを守る都市づくり[アクション編]』 (大阪公立大学出版協会, 平成 25 年)
- 10 その他 入試担当部長の設置に伴う選出 (新任)

大阪市立大学学術情報総合センター所長略歴

- 1 氏 名 橋本 秀樹 (はしもと ひでき)
- 2 生年月日 昭和 37 年 7 月 7 日生
- 3 専 攻 生体物性物理学
- 4 任 期 平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- 5 学 位 理学博士 (関西学院大学)
- 6 最終学歴 平成 2 年 3 月 関西学院大学大学院理学研究科後期博士課程 修了
- 7 職 歴
 - 平成 2 年 4 月 日本学術振興会特別研究員
 - 平成 3 年 4 月 大阪市立大学 助手 (工学部 応用物理学科)
 - 平成 9 年 4 月 静岡大学 助教授 (工学部 物質工学科)
 - 平成 14 年 4 月 大阪市立大学 教授 (大学院理学研究科数物系 物理学教室)
 - 平成 20 年 4 月 大阪市立大学 教授 (複合先端研究機構/大学院理学研究科)
現在に至る

 - 平成 10 年 5 月～11 年 3 月 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻 助教授 (常勤併任)
 - 平成 13 年 5 月～12 月 英国グラスゴー大学生命科学研究所客員助教授
(文部科学省長期在外研究員)

 - 平成 17 年 4 月～22 年 3 月 大阪市立大学学術情報総合センター副所長
 - 平成 22 年 2 月～現在 Ma Chung University (インドネシア) Adjunct Professor
 - 平成 22 年 4 月～ 現職
- 8 選出年月日 平成 26 年 2 月 24 日
- 9 主な業績等
 - <学術論文>
 - G. Cerullo, D. Polli, G. Lanzani, S. De Silvestri, H. Hashimoto, and R.J. Cogdell, *Science* **298** (2002) 2395-2398.
“Photosynthetic Light Harvesting by Carotenoids: Detection of an Intermediate Excited State”

 - D. Kosumi, S. Maruta, T. Horibe, R. Fujii, M. Sugisaki, R. J. Cogdell, and H. Hashimoto, *Angew. Chem. Int. Ed.* **50** (2011) 1097-1100.
“A Novel Ultrafast Energy Transfer Pathway in a Purple Bacterial Photosynthetic Core Antenna as Revealed by Femtosecond Time-resolved Spectroscopy”
 - 他 300 編以上
 - <著書>
 - R.J. Cogdell, A.T. Gardiner, M. Gabrielsen, J. Southall, A.W. Roszak, N.W. Isaacs, R. Fujii, and H. Hashimoto, “Photosynthetic Protein Complexes: A Structural Approach”, Ed. Petra Fromme, Wiley-Blackwell, Weinheim (2008) pp. 325-340.
“The Structure of Purple Bacterial Antenna Complexes”
 - 他 17 編
- 10 その他 前任の任期満了に伴う選出 (再任)